

2024.7.17
3水スマイルラウンジ
まなびのひろば

三輪の里山を知ろう！

三輪町の森
里山勉強会

~ *MIWA* ~

Magical Image Walking Adventure
気分は何時も冒険少年・・・！

環境省 全国里地里山 500選 ～三輪町の森～

[環境省](#) > [自然環境・生物多様性](#) > [里地里山の保全・活用](#) > [重要里地里山トップ](#)



生物多様性保全上重要な里地里山

[重要里地里山トップ](#) | [里地里山と生物多様性](#) | [「重要里地里山」の選定](#) | [選定地一覧](#) | [関連リンク集](#)



◆ 三輪町 (町田市)

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia) 』

<地理>

町田市の東端にあたる。北は町田市能ヶ谷、東は神奈川県川崎市麻生区上麻生、下麻生、川崎市麻生区岡上、南は神奈川県横浜市青葉区緑山、奈良町、鴨志田町、寺家町と接している。東・南・西の三方を神奈川県に囲まれ、北側の能ヶ谷と接している部分はわずか数百mと、飛地のようにになっている。



東京都町田市三輪町は、町田市の東の外れにあります。町田のチベットなどと言われることもあります。地図を見てもわかりますように、川崎市麻生区の飛び地である岡上や横浜市の青葉区北西端の奈良町、こどもの国などに囲まれた大変緑の多いところです。

◆ 人と緑と歴史をつなぐ “自然の宝庫・三輪の森”

三輪の森は自然環境・生き物、歴史文化のアウトドア博物館として、“三輪・谷戸山ミュージアム”と呼ばれています。環境保護活動家のC・W ニコルさんが推奨し「生物多様性保全上重要な里地里山地区」に指定された自然豊かな三輪緑地があります。木々や野草、昆虫や野鳥などの多様な野生動物が彩りを加える三輪の森の生き活きとした景観は三輪らしさを形成し、寺家ふるさとの村のみどりと共に地域を代表する景観です。

動植物豊かな谷戸、シラカシ-モミ群落、クヌギ、コナラ、エノキ、竹林、湿性草木群落、常緑樹、池、草地、水田などが豊富です。そして、郷土の自然、歴史的文化特性、谷戸山生活に学ぶことができます。

三輪緑地、谷戸山、生物多様性、自然、歴史、水田、自然環境、水と緑、生物、また三輪の森ビジターセンターは三輪の森の散策拠点として利用できます。

◆ 三輪は全てがウォーキングの対象 …… 三輪の里山

白洲正子や柳田國男をはじめとする多くの文化人に愛されたエリアで、奈良桜井郡の三輪の里の大神神社に由来する伝承があり、そのため神社が多く歴史の深さを感じます。また、高蔵寺前の一連の里山風景は、四季ごとにひと際美しい景観があります。

また、古代から集落が形成され多くの横穴墓群や瓦窯址などがあり自然、歴史等の豊かさを里山の中で体験できます。

三輪町の森（全体）



21. 1ヘクタール

※公園緑地課による①～⑫の標識





三輪の森
ビジターセンター

三輪緑地

寺家町 (神奈川県青葉区)

四季の家

寺家ふるさと村

散策拠点の場所

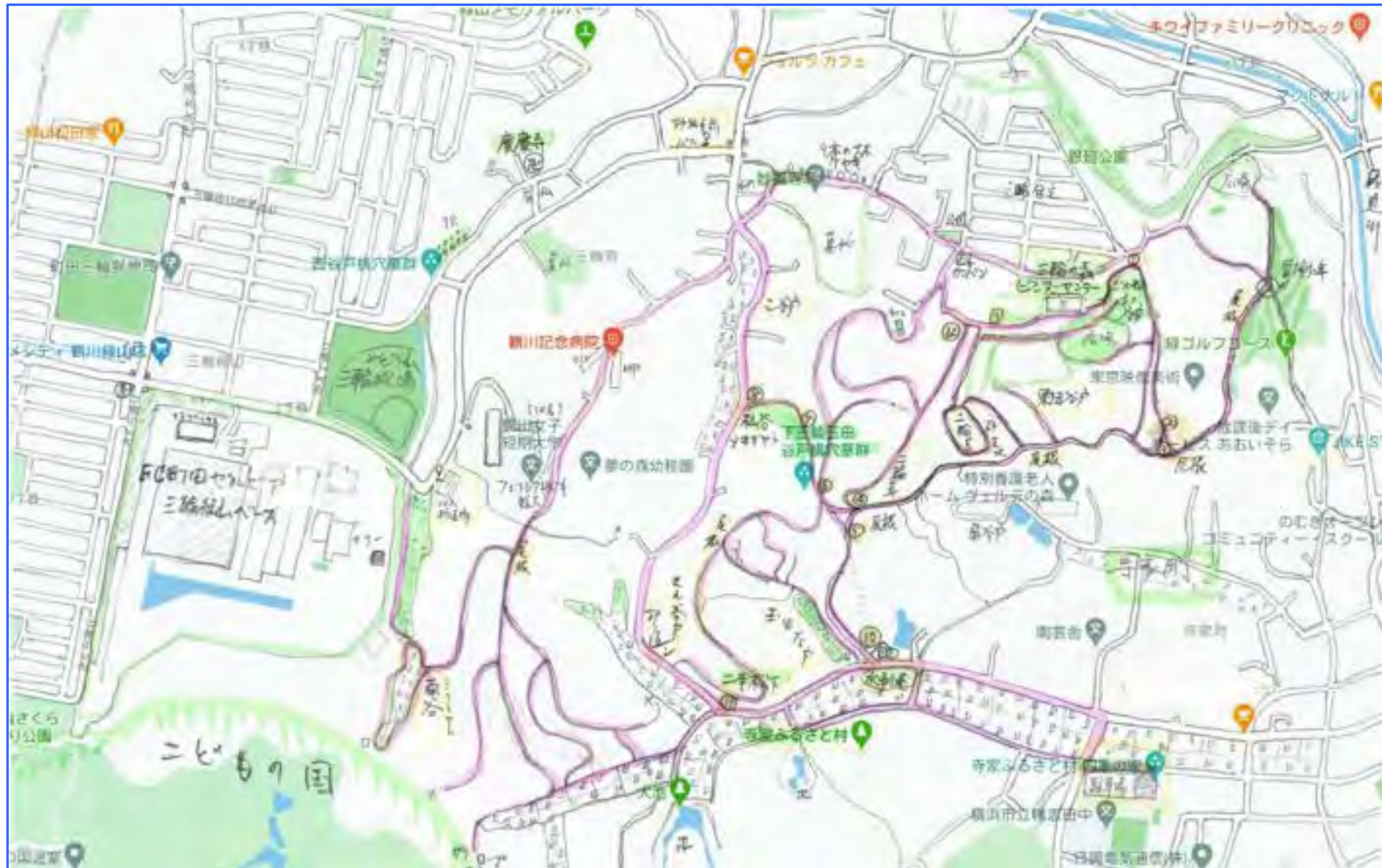
- ・ 三輪の森ビジターセンター
- ・ 四季の家(寺家ふるさと村)



三輪の森 散策コース

全パス（ピンク）表示

※寺家ふるさと村を含む



アプローチ方法



～バス路線～

- 【鶴01】鶴川駅～フェリシアこども短大
- 【鶴07】鶴川駅～こどもの国
- 【鶴08】鶴川駅～鶴川駅(緑山住宅循環)
- 【鶴09】鶴川駅～奈良北団地

三輪の森ビジターセンター

町田市公園緑地課 ☎042-724-4399



月曜休館日 開館時間9～16時
バス停「妙福寺前」より徒歩10分



休憩コーナー・トイレ・会議室・展示室
※三輪緑地、寺家、四季彩の杜などの案内パンフレット
があります

三輪の里山ウォーキング 散策拠点

※ 三輪緑地の玄関



⑨

◆ 三輪緑地 谷戸の紹介・・・



こがねまつ谷戸 その周辺



三輪の森
ビジターセンター

東田谷戸

駐車場あり

⑨

⑫



東田谷戸



特別養護老人
ホーム ヴェルデの森

東田谷戸

三輪の森
ビクターセンター

三輪緑地 中央へ

⑫

⑨



三輪緑地 中央へ







下三輪
玉田谷戸横穴古墳

⑥

④

⑤

切り通し

玉田谷戸

⑩

二本松下

⑪



二本松下・切通し・杣谷 近辺



※“三輪みどりの会” が管理



こ谷戸・下三輪玉田谷戸横穴古墳 近辺



玉田谷戸

新池

⑩

水車小屋



水車小屋 近辺



玉田谷戸





南谷(みなみやと)の紹介・・・

※“三輪みどりの会”が管理



南谷







三輪緑地の里山を守る



1

町田市に残された
緑と市の方針

2

三輪里山クラブの
活動

3

里山の成り立ちと
荒廃の現状

4

里山をどう再生す
るか

NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会
三輪里山クラブ 里山勉強会資料

1. 町田市に残された緑と市の方針

町田市の関連する方針(2022/3)

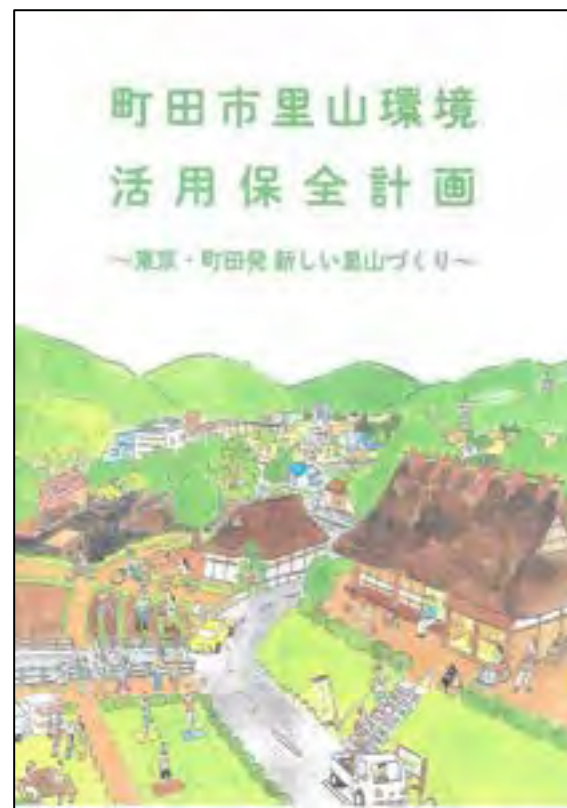
都市づくりのマスタープラン2040

都市計画緑地三輪緑地は、貴重な自然環境と歴史的資源を継承することを目的として、自然環境の保全や環境学習、農作業体験の場を目指した整備をすすめます

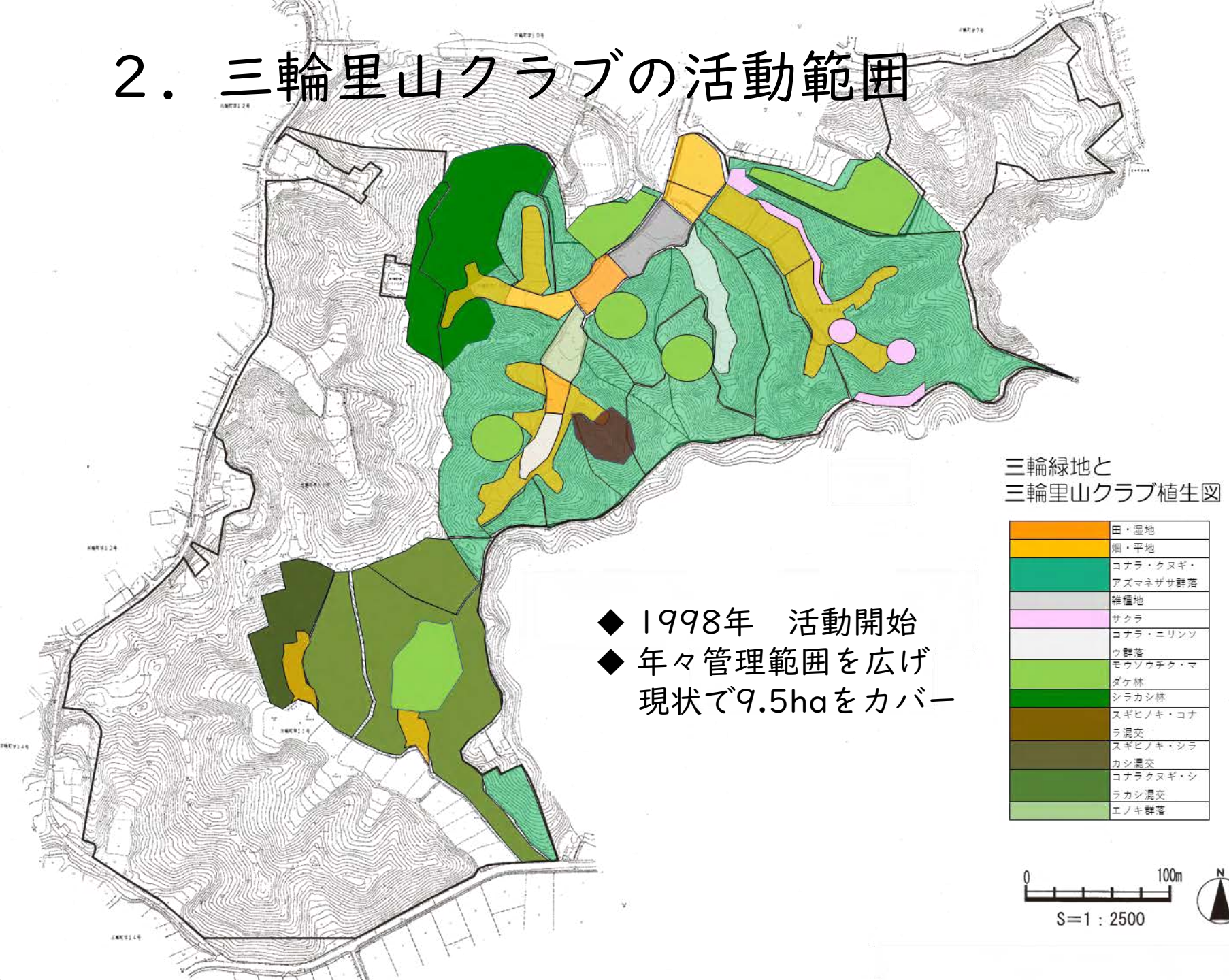


町田市里山環境 活用保全計画

- ・ 4つのエリア（相原、小山田、小野路、三輪）
- ・ 自然・歴史・文化資源にふれあえる里山環境を実現
- ・ 地域のビジョンを共有し、新たな活動を後押しする地域の基盤づくりに取り組む



2. 三輪里山クラブの活動範囲



半世紀に渡って放置され、常緑樹の暗い森と化した三輪の森を薪炭林風の憩いの場に甦らすことで意見一致
(2009年)

◆ 常緑樹・ナラ枯れ木の伐採

シラカシの間伐、危険位置にあるナラ枯れ木の伐採。

◆ 除伐・刈払い

アズマネザサ、マダケ、モウソウチク等。

◆ あか道・遊歩道の整備

散歩や雨の被害などで遊歩道はぬかるんだり、傷んだりします。補修・整備が必要。

◆ 地拵え

雨水の土壌浸食を防ぐため、整備発生材は筋置きします。
ゴミにせず、全て土壌改良の資材として生かします。

◆ 植樹

若い森にするため、ナラ枯れ木と大径木の世代交代を図る。

◆ 一般生活廃棄物の除去作業

心無い人達が捨てた大量の生活廃棄物を掘り起こし、廃棄しました。



常緑樹やナラ枯れ木の伐採
シラカシの間伐、危険位置
にあるナラ枯れ木の伐採



除伐
刈払い
地拵え
竹林整備



間伐材は山で 有効に活用します

- ・ 遊歩道の新設/補修
- ・ 路肩補強
- ・ 滑木に活用





遊歩道の修理と
ベンチサークル作り

一般生活廃棄物 の 撤去作業

谷戸に投棄された一般廃棄物を道路まで引き上げるのに延約400名関わり、それを処理場まで運ぶのに2トントラックで19台必要でした。

一般廃棄物：ガードレール、冷蔵庫、洗濯機、五右衛門風呂、鉄製フェンス、何でもありました



三輪小学校との活動経過

増川校長先生時代に倉庫前で写生大会実施したのが始まり

年々絆が深まり、毎年春秋にいろいろな行事が組まれるようになりました。

	時期	プログラム
一年生	10月	「里山で生き物をさがそう」 里山散歩
二年生	11月	「どんぐり育つかな」 どんぐりを拾って苗床に植え付けます
三年生	2月	「竹とんぼを作って飛ばそう」 ナイフで作った竹とんぼを飛ばします
四年生	2月～3月	「クラスの森を作ろう」 どんぐりから育った苗を山に植えま す
六年生	3月	「三輪里山の保全活動」を紹介します

※5年生は「三輪みどりの会」の指導で、コメ作りを体験しています。
2年生の時に山で拾ったドングリを植え付け、大きくなった苗を
4年生の時に山に本植えさせます。



～二年生～
里山の冬をさがしに
行きました！



3. 里山の成り立ちと荒廃の現状



里山とはどんなところだったのか？

人が生きていくために必要なあらゆるものを得ることができた！

人手が入り極相林化を防ぎ、環境の多様性が保たれた

森は水を浄化し、貯え、ゆっくり流し、里山・里地を潤した

草木、昆虫、鳥類、哺乳類、など多様な生き物たちが住んでいた

柴、薪、炭、村で必要な全エネルギーを得てきた

住のために必要な資材もすべて里山で確保できた。里山林、萱場、竹林



植物の繊維で衣類、縄、紐、履物を作り、紙も得た

家畜の餌、肥料も里山から得られた

ワラビ、クズ、キノコ、山菜、クリ、トチ、カヤ、クルミ 飢饉しらず

クマ、カモシカ、シカ、イノシシ、ウサギ、ヘビ、カエル、サンショウウオ、川魚、ツグミ、キジ・・・

里山の状態を保つために、森は健康でなければならない。そのための工夫が古来いろいろなされた。植物を健康にするには、土壌の役割が非常に重要！

半世紀の放置を経て里山の状態は？

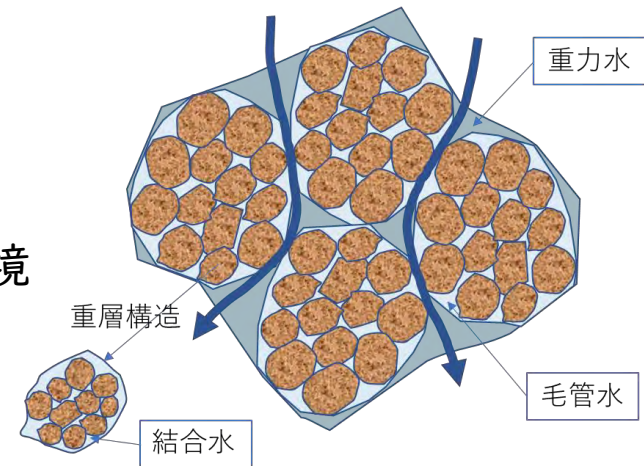
- 現代土木工事による地下水系の破壊
川、海、山の護岸工事、擁壁、道路、砂防ダム、U字管等々
- 通気浸透水脈が遮断し、土地が分断され土壌が劣化
乾いた山肌と水はけの悪い場所ができる
- 人による利活用も減少し、放置され、手入れが行き届かず荒廃



- ✓ 山肌は乾燥しきっている
- ✓ 水も空気も浸透せず、土中の生きものは壊滅的
- ✓ 微生物のバランスが崩壊
- ✓ 団粒構造 ➡ 単粒構造化：植物が生き難い環境

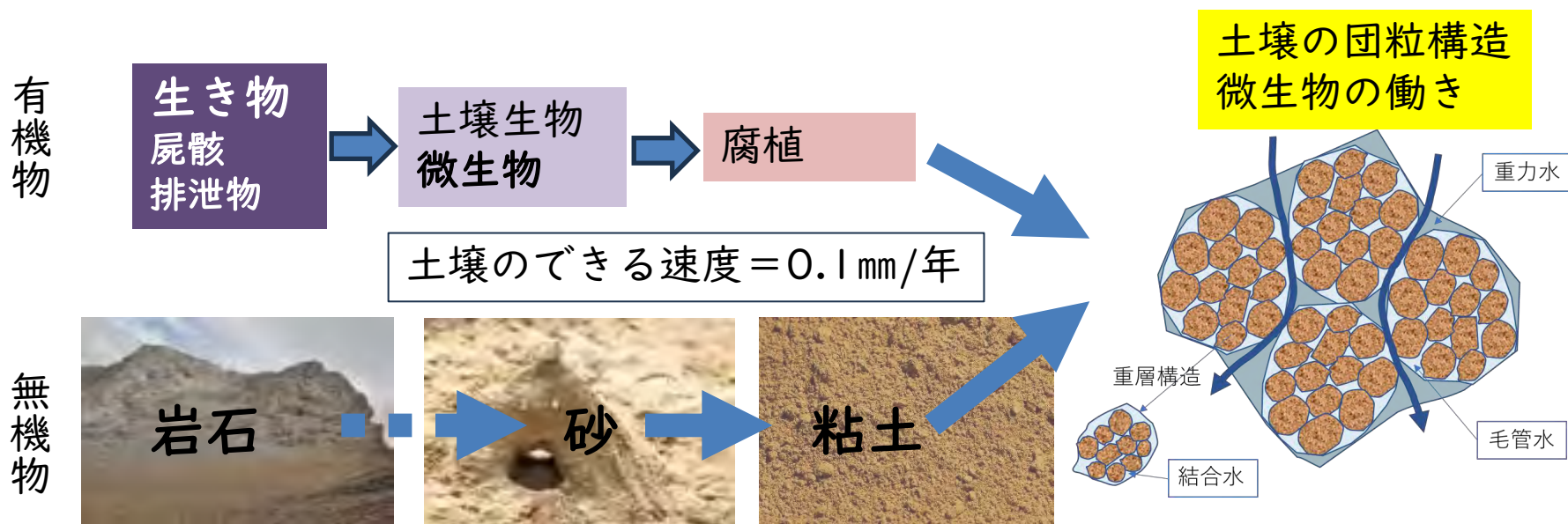


土壌の団粒構造



竹（モウソウチク、マダケ）と笹（アズマネザサ）だけが繁茂

土壌のでき方：長い年月をかけてきました

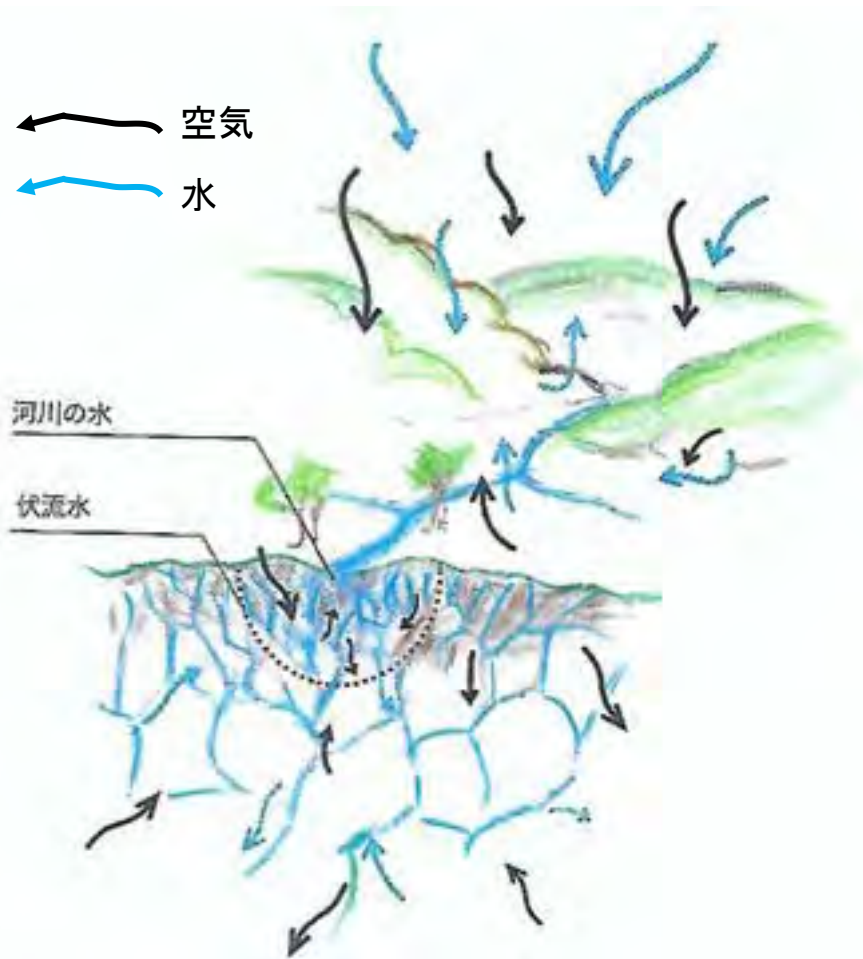


礫 > 2mm > 荒い砂 > 0.25mm > 砂 > 0.05mm > シルト > 0.01mm > 粘土

土壌の破壊と流出

1. 雨による土壌の流出： 日本の森林では $1 \sim 2 \text{ m}^3 / 1 \text{ ha}$
2. 太陽熱と風による土壌の破壊： 水の蒸発量 乾燥地帯では $20 \text{ mm} / \text{日}$
日本の夏 $6 \text{ mm} / \text{日}$
3. ヒトの営み：
肥料・農薬の発明・動力機械による乱開発：微生物のいない土壌

里山の地下構造（本来の姿）



健全な河川のイメージ断面図
地上と地下は繋がっている



森林の表層土壌と水脈のイメージ
地上の樹木の高さに見合った根の構造がある
根の先には菌糸が広がり深い地下から吸水

土中の地下水脈イメージ



社会情勢の変化によって里山の状態は？

- 現代土木工事による地下水系の破壊（戦後の高度成長期～）
 - ✓ 車社会の発展と防災意識の高まり
 - ✓ 道路網の整備、川・海の護岸工事、山の砂防ダム・擁壁、U字管等々
 - ✓ 工業化の進展と都市化による里地・里山地域の市街化、工業地化
- 里山の価値低下による里山林の放置（1960年代から）
 - ✓ 人手が入らなくなり、ヤブ化、極相林化が進んだ（ササ藪、シラカシの森）



- 山肌は乾燥しきっている
- 土中では水も空気も浸透せず、土壤生物の生態系は壊滅的状态
- 微生物が減少し、団粒構造が失われ、植物が生き難い環境に



森の健康が失われ、ヤブ化が進み、林床に日光が届かず
浅く根を張る竹（モウソウチクなど）と笹（アズマネザサ）だけが繁茂
森の4層構造が失われ、地下の根の構造が地面近くに集中。
高木層が先にダメージを受けている（倒木が多く、ナラ枯れが広がった）

4. 里山をどう再生するのか？

植物が生きていくための5つの条件とは！

光、水、土壌、温度、空気

従来の里山管理手法に加えて・・・

～ヒトが貢献できる水と土壌にフォーカス～

- ・ 里山の土中環境を改善/効果の持続する造作
- ・ ヒトが分断してしまった自然の系を修復し全ての生きものが生き生きできる環境に戻す作業
- ・ 植物、昆虫、哺乳動物、鳥類が生きていける環境

水と空気の浸透性を高め、植物と共生関係にある
土中生物（微生物）の住みやすい環境を復活させる

里山林再生のための具体的な方法

- 水の浸透性を高め、土中の水と空気を動かす
 - ✓ 段を切り、平らな層を重ね、マウンドを作る
 - ✓ グリグリ(35cmの細穴)と大きな縦穴(20cmΦx60cm深)
- 溝を切り、流れを誘導し、水溜りを作らない
- 竹炭・燻炭を使い微生物の生育環境を改善する
- 落ち葉、枝ガラ等自然の有機物を活用して微生物の餌にして住みやすい環境にする
- ササ類は「風の草刈り」方式で見通し、風通しを確保し、林床にも光が届くようにする
- 多様な植物種を育成し、森の階層構造化を図る

健康な森とヤブの違い

◆ 健康な森

- ・ 植物種が多様で樹木の世代（幼木、若木、成木）バランスが良い
- ・ 階層構造ができている（高木、亜高木、低木、草本）
- ・ 林内は見通しがよく、風通しも穏やかである
- ・ 適度な光が林床にも届いている

◆ ヤブ（藪）

- ・ 多様性がなく、階層構造もない
- ・ 見通しが悪く、風が動かない
- ・ 多くの生きものにとっても心地よいとは言えない環境

健康な森では土壌の団粒構造が保たれ、
植物と共生する微生物にとっても
住みやすい環境となっている・・・

最近の試みから・・・

<落ち葉ステーション>

三輪里山クラブから地域の皆様へ 2023年1月

**みんなの
落ち葉ステーション**

落ち葉は自然が毎年くれる貴重な資源です。
昔は土に鋤き込んで循環させ、豊かな土地を維持してきました。庭や道、U字溝、公園に降り注ぐ落ち葉をゴミにせず、「落ち葉ステーション」にお持ち下さい。山の土に炭とともに還して、土中の微生物を元気にし、三輪の里山を健康な森に戻します。

拾い集めた落ち葉をここに集めましょう。

落葉樹は秋に葉を落としますが、常緑樹は5、6月に葉を落とします。ここに一緒に入れて大丈夫です。

落ち葉以外は入れないようにお願いします。

“落ち葉ステーション”は三輪里山の入り口近くにあります。

出来た腐葉土は誰でも利用することができます。

豊かな三輪里山づくりのため、ご協力をお願い致します。

NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会(Tel.03-5244-5447) 三輪里山クラブ

<竹炭・もみ殻燻炭作り>

三輪里山クラブから地域の皆様へ 2023年1月

**竹炭・もみ殻燻炭作りを行います。
炭を使って里山の森を元気にします。**

この作業には炎と煙が伴いますが、安全には十分に注意して行います。
町田市消防署の承諾を得ておりますが、その都度届け出を行います。

大量の炭にして山の土に還します

現状の薄暗い竹林

浅い所に根を張る竹は表層で水を吸い上げ、地下深くに水が行き渡らず、多様性が急速に衰えます。

水が流れる土が流れる根が張れない

高木が枯れ、大木が倒れています。

竹を間引いて燃やし、竹炭化

竹炭

モウソウチク燃焼無煙炭化装置

元気を取り戻す里山

竹の間伐により、陽の光が入り、風通しがよくなります。

草木の種が長い眠りから目を覚まします。

高木の根が深く張り巡らされ、土を捉え、地下深くの水を吸い上げます。

豊かな森が復活します

もみ殻燻炭

もみ殻

田んぼ

もみ殻燻炭作り器

炭は多孔質。大小無数の空洞があり、微生物の住処になります。落ち葉等の有機物を分解し、菌糸ネットワークが形成され、共生相手である植物が元になります。

豊かな三輪里山づくりのため、ご理解を賜りますよう、お願い致します。

NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会(Tel.03-5244-5447) 三輪里山クラブ 協力：鶴川地区協議会

保全要員の養成について

三輪里山クラブも人員不足に悩んでいます

- NPO団体中心：メンバーの固定化、高齢化、減少傾向
- 山林/農地管理の経済的負担と高齢化：人手不足



- 地元/近隣の人たちが集える場所にする
- 人を集める方法： 里山林塾 （2017年スタート）
- 毎年5月スタート、翌年4月修了・・・1年プログラム
林床管理技術、伐木技術、健康な森作り技術、利活用技術
- 2022年から新体制 → 人が集まる三輪の里山
里山の利活用を楽しむ部活動スタート
ホタル開墾田んぼ倶楽部、放棄地開墾部、キノコ部、ピザ部、
養蜂部、収穫祭、交流会
- 応募方法 ※2024年度：現在 第8期スタート
NPO 法人 樹木・環境ネットワーク協会のHPより

https://www.shu.or.jp/form/rinjuku_form.php

保全作業の進め方について

人が集える場所にします。地元/近隣の皆さま向けワークショップを行いますので奮ってご参加ください！

多くの人手が集まれば一日で大きな“里山づくり”の成果を上げることができ、持続的な里山効果が期待できます！

- 三輪里山クラブ：第1木曜日、第2日曜日、第4土曜日 ※里山保全
9：00～14：30
- 三輪里山林塾：第1日曜日、第3日曜日 ※里山保全方法を学ぶ
9：00～12：00、午後の部
午後は、里山の利活用を楽しむ部活動を行ないます
※ホタル開墾田んぼ倶楽部、放棄地開墾部、キノコ部、
ピザ部、養蜂部など・・・
- 参加要領：NPO 法人 樹木・環境ネットワーク協会のHPより
<https://www.shu.or.jp>

～以上～ NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会
三輪里山クラブ 里山勉強会まとめ資料

～三輪の里地・里山を守っているグループの紹介～

環境省により「三輪町の森」として三輪の里山が取上げられています。

※環境省では、さまざまな命を育む豊かな里地里山を、次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置づけ、「生物多様性保全上重要な里地里山（略称「重要里地里山」）」500箇所を選定しています。

https://www.env.go.jp/nature/satoyama/13_tokyo/no13-6.html



町田市の二大緑地の一つである三輪緑地を中心に、三輪の里山は二つのボランティアグループ『三輪里山クラブ』/『里山林塾』と『三輪みどりの会』によって守られています。それぞれの会を以下に紹介します。

【三輪里山クラブ】・・・活動日：第1木曜日、第2日曜日、第4土曜日 9：00～14：30

三輪緑地の一角をお預かりしているNPO 樹木・環境ネットワーク協会の森づくりボランティアグループで、1998年に活動を開始し、明るい森づくりに取り組んで来ました。放置するとすぐに藪化するため、日ごろから常緑樹の間伐、ササ等の除伐、道造り、台風被害木の除去など。秋冬には三輪小学校のふるさと教育に参加し里山体験授業のお手伝いをしています。季節にはニリンソウ、キンラン、イチヤクソウなど希少植物も多く、美しい野草の宝庫です。メンバーは首都圏各地から集まり活動しています。近隣の皆様の参加により、持続可能な里山管理体制を目指します。未経験者の方も・・・大歓迎です。

【問合せ先】 NPO樹木・環境ネットワーク協会 三輪里山クラブ
クラブリーダー：広瀬 攻 090-3402-8558

【三輪・里山林塾】・・・活動日：第1日曜日・第3日曜日 9：00～12：00 午後は部活動

2024年度里山林塾第8期が始まりました。5月19日(日)にオリエンテーションがあり15名の林塾生が誕生しました。年間スケジュールに従って里山の保守・保全を学びます。林塾卒業後は、三輪里山クラブの活動に加わり共に三輪の里山を守ります。



～部活動～

- ・養蜂部
- ・ピザ部
- ・耕作放棄地開拓部
- ・キノコ部
- ・ホタル谷戸開拓部
- ・伐木部
- ・狩猟ピリヤニ部
- ・一本釣り部

(任意参加)



里山整備の基礎を学ぶ

年間を通じたカリキュラムで「林床の整備」「立木の伐倒」「伐材の活用」等里山整備の基礎を学び、必要な資機材の基本的な使い方を身に付けます。

里山の利活用を楽しむ

荒れた谷戸の再生、耕作放棄地を拓く自然農、養蜂、石窯を活用した本格的ピザ焼き、キノコの栽培・採集等、塾生の興味に応じた多様な利活用を任意参加の部活動を通じて楽しみます。

末永く里山に通う仲間を作る

卒業後も多くの方が三輪里山の整備活動や部活動に参加。自然が好きな者同士で仲間作りが進んでいます。昨年はキノコ狩りやカブオの一本釣り、平素会等参加者の非常で楽しい遊びを多数企画。

主宰： NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会 三輪里山クラブ

【三輪みどりの会】・・・活動日：毎週土曜日、日曜日 各 9：00～12：00

町田市公園緑地課の要請で2001年に発足しました。三輪緑地内の「二本松下」と「杣ヶ谷（ソマガヤ）」、こどもの国と鶴見川クリーンセンターに隣接した「南谷（ミナミヤ）」の3ヶ所の市有地を中心に、周辺の田畑を含む里山の保全活動を行っています。

活動は毎週土日で雑木林の下草刈りや田畑の再生を行い、植物観察会の開催、竹の子掘りや年末の餅つきには一般の方をお誘いし、多くの子ども達にも楽しんで頂いています。地域との関わりでは、三輪センター文化祭でしめ縄等の販売、三輪小学校の里山活動への協力、フードバンクへ新米の寄付等、地域と良好な関係を継続しています。

里山保全活動へ興味のある方は大歓迎です。

【問合せ先】 三輪みどりの会 代表：長峯 直好 090-3232-2269

三輪みどりの会の活動

(柚ヶ谷/南谷/二本松下 地区)

冬季は雑木林の下草刈や間伐、春から秋は稲作中心となるが、適宜雑木林の下草刈も行っている。また野草の観察保全も実施している。

地域活動では、三輪小学校 1～3年生の里山活動への協力、町田市民大学講座HATSで里山散策講師、三輪センター文化祭参加、年末の餅つき大会（今年で18回目）イベントは地域との大切なコミュニケーションの場となっている。

～活動日～ 土曜日・日曜日 9：00～12：00



～三輪里山クラブ～ 各グループの活動スナップ・・・



～三輪里山林塾～



～三輪みどりの会～



～地域の課題～

① 住民の日常生活の利便性・安全性の向上

- ・ 散策者のマナー向上など、来訪者の行動が地域住民の生活を阻害しないための対策が求められています。

② 地域住民と緑がふれあう機会の充実

- ・ 地域住民が住宅地に近接する里山環境の活用の担い手となり、良好な住宅地の環境と暮らしを維持・更新していくことが重要といえます。
- ・ 地域住民が日常生活の中で、気軽に里山環境にふれあうことができるよう、情報発信、活動参加のきっかけづくりが求められています。

③ 多様な主体の連携・協働のしくみづくり

- ・ すでに活動している団体等と新たに活動を始めたいと考えている住民の情報共有、連携/協働のきっかけづくりが求められています。

◆ 三輪里山クラブ 見学/体験

～活動日～

第1木曜日 第2日曜日 第4土曜日
9:00集合 昼食持参 14:30終了

◆ 三輪みどりの会 見学/体験

～活動日～

毎週土曜日、日曜日 9:00～12:00

◆ NPO樹木・環境ネットワーク協会イベント

ホームページで紹介 ～三輪地区で開催～

<https://www.shu.or.jp/> 協会 ☎03-5244-5447



◆ 鶴川地区協議会からのご案内

- ・ 鶴川地区協議会LINEからの情報発信
 - ・ 里山勉強会の開催
 - ・ 散策ツアーの開催 年4回（右案内参照）
- ※里山づくりにご関心ある方、参加/見学等のご希望者はご連絡下さい。☎080-3413-9060

三輪の里山を知ろう！

人と緑と歴史をつなぐ ～“自然の宝庫・三輪の森”～

環境保護活動家のC・Wニコル氏が推奨した自然豊かな三輪緑地！

三輪の森は自然環境・生き物、歴史文化のアウトドア博物館として、『三輪・谷戸山ミュージアム』と言われています！ ～雨天中止～



2024年度 特別散策ツアーのご案内
4/12(金)、7/26(金)、9/7(土)、11/16(土)

◆ 集合場所：三輪の森ビジターセンター（下図）
※妙福寺バス停から徒歩10分、500m

◆ 集合時間：10時 コース説明後→散策/昼食/散策
※昼食はフェリスシア子ども短期大学で用意します(無料)

◆ 解散時間：15時前後頃 ※妙福寺前バス停ほか

◆ 交通手段：神奈中バス 鶴川駅前バス乗場
【鶴川01】フェリス子ども短期大学行き
妙福寺前下車 所要時間10分

※鶴川駅前 発 9:02, 9:33 → 妙福寺前 着 9:12, 9:43

◆ 定員：25名 各月/日先着順で切(参加費無料)

◆ 申込み：鶴川地区協議会 070-5466-6542 小川

◆ 保険：主催者側で付保します(無料)



【コース】三輪緑地→フェリス子ども短期大学・FC町田ゼミ・トレーニング施設
ビジターセンター→三輪緑地→フェリス子ども短期大学(昼食・見学)→南谷
→ゼルビア練習場/クラブハウス → けやき通り/妙福寺前ほか 解散
※ 関 研 君 氏 設計のフェリス子ども短期大学/ゼルビアクラブハウス等が観られます

【主催】鶴川地区協議会

【協力】町田市公園緑地課

三輪の森



wakako.#

MIWA

Magical Image Walking Advventure

気分は何時も冒険少年・・・！